

世代を超えて

伝えよう平和への願い

2005年は戦後60年の節目

わたしたち日本国民は、8月15日を「終戦記念日」と定め、戦争の悲劇を忘れることなく、これを二度と繰り返すまいと固く誓いました。そして今年には戦後60年を迎えます。

成田市は 平和都市宣言のまち

わが国は世界で唯一の核被爆国です。昭和20年8月に広島、長崎へ投下された原子爆弾は、一瞬にして数十万の人命を奪い去

りました。

終戦から60年、原爆被爆から60年になる現在も、核兵器の保有を続ける国があるだけでなく、核兵器の保有を目指す国が出現するなど、世界の多くの人々が求める核兵器廃絶の道のりは、依然として険しいと言

わざるを得ません。

成田市は、国是である非核三原則（日本は核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず）が完全実施されることを願い、全世界の



広島市に投下された原爆によるキノコ雲(展示パネルより)



市庁舎の前に立つ「平和の塔」



世界遺産に登録されている原爆ドーム

人々と共に、核兵器の廃絶、恒久平和確立のため、平成7年2月21日に「非核平和都市」を宣言しました。

また、本市は、自ら永遠の平和都市となることを誓い、昭和33年10月31日に「世界連邦平和都市」の宣言もしています。

終戦記念日の8月15日を「平和を誓う記念日」として、わたしたちの心にとどめ、あらためて平和の大切さを考え、戦争の恐ろしさ・悲惨さを次の世代に伝えて行きましよう。

8月15日の正午に 1分間の黙とうを

8月15日(月) 日本武道館で全国戦没者追悼式が行われます。

先の大戦で亡くなられた人々を追悼し、平和を祈念するために、正午に1分間の黙とうをお願いします。

非核平和都市宣言

(平成7年2月21日宣言)

世界の恒久平和は、全世界の人々の共通の願いである。

我が国は世界で唯一の核被爆国として、広島・長崎に原爆が投下されて本年で50年目を迎える。

我々は、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再びこの地球上にあの惨禍を繰り返すことのないよう強く望むものである。

このため、平和を希求する我々成田市民は、我が国の国是である非核三原則が完全実施されることを願い、全世界の人々と共に、核兵器の廃絶、恒久平和確立のためここに「非核平和都市」を宣言する。

世界連邦平和都市宣言

(昭和33年10月31日宣言)

成田市は、宗教観光都市として、世界連邦建設の趣旨に賛同し、自ら永遠の平和都市となることを決意し、全世界の恒久平和確立と人類の福祉増進に努力せんとするものである。

右宣言する。



平和について考える

広島・長崎被爆写真展

市役所ロビーと図書館で

市では次のとおり、市役所と市立図書館で「広島・長崎被爆写真展」を開催します。

この展示会では、平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原子爆弾投下直後の広島・長崎の惨状を記録した写真パネル約40点が展示されます。



悲劇を繰り返さないために

会場と期間：市役所ロビー・8月1日(月)～11日(木)、市立図書館玄関ホール・8月13日(土)～23日(火)
時間：午前8時30分～午後5時(市立図書館)

平和を願って 夏休みの終わりに「星空映画会」

日時=8月27日(土)午後6時30分～8時55分

会場=赤坂公園芝生広場(雨天のときは中台小学校体育館)

上映作品=「はとよひろしまの空を」・「Mr.インクレディブル」

入場料は無料です。車での来場はご遠慮ください。くわしくは市青少年相談員連絡協議会ニュータウン地区・野村さん(☎27-2778)へ。

館は火・金曜日 午前9時30分～午後7時
土・日曜日 午前9時30分～午後5時

パネルの貸し出しも行っていません。くわしくは国際交流室(広報課内)☎201503へ。